

# 20年後の流通会館 ありたい姿を模索中

# KIMASSI

# KANAZAWA

Vol.149  
August

KANAZAWA TOIYA CENTER QUARTERLY NEWS  
URL <https://www.kimassi.or.jp/>

2024年8月

金沢問屋センターニュース

第61回通常総会を開催

臨時総会開催のご案内

わが社をPR

うちのキラリンさん

全国卸商業団地企業年金基金からお知らせ

事務局だより

## 事務局だより

# INFORMATION

### 1月

#### ●31日 理事会

1. 総務委員会より
  - (1) 景況調査の集計結果について
2. 組合運営委員会より
  - (1) キャンセル料の特例措置について
  - (2) 会館運営状況について
  - (3) 地下室給排気ファンの更新について
3. BCP委員会より
  - (1) アンケート調査の実施について
4. 街力発信委員会より
  - (1) イベント事業中止について
  - (2) 防犯カメラ設置補助金について 実績18件
  - (3) 防犯灯設置補助金について
5. 検討委員会より
  - (1) 中間報告について
6. 青年部会より
  - (1) 1月定例会について
  - (2) 2月定例会について

### 3月

#### ●4日 理事会

1. 総務委員会より
  - (1) 4月から12月の決算について
  - (2) 出資金見合いの緊急融資について
  - (3) 生活習慣病予防健診について
  - (4) 新入社員歓迎式について
2. 組合運営委員会より
  - (1) 町内一斉清掃について
  - (2) 会館運営状況について
  - (3) レストスペースの貸し出し及び改修案について
3. 厚生委員会より
  - (1) 新入社員行事について
4. BCP委員会より
  - (1) アンケート調査の結果について

### 編集後記

震災以来、行こうと思いつつも気が重くなり、なかなか足を運べなかった輪島市街へ先日ようやく行ってきました。朝市通りの火災跡はまさに「灰燼に帰す」ともいえる、目を覆うばかりの惨状です。2011年の津波災害直後の岩手三陸と重なる、なにか現実感のない光景が広がっていました。三陸で見た津波で打ち上げられた船舶と港から出られない能登の漁船もどこか印象が重なってまいります。

数日前に近江町市場で買い物をしました。近江町と輪島朝市はいずれも数百年にわたる歴史を持つ我が県を代表する市場ですが、かたや溢れかえる観光客となかなか復旧の進まない震災現場。あまりに対照的な景色にこちらの平衡が保てないような感覚を覚えます。ひとつの県の北と南、上手くバランスが取れる道はないかしらと思わずにいられません。

(K.M)

### 5月

#### ●7日 理事会

1. 総務委員会より
  - (1) 第61回通常総会について
  - (2) 出資金見合いの緊急融資について
2. 組合運営委員会より
  - (1) 不燃物有料回収について
  - (2) 町内一斉清掃について(結果報告)
  - (3) 会館利用料金見直しについて
3. 厚生委員会より
  - (1) 令和6年度福利厚生事業計画(案)について
4. 検討委員会より
  - (1) 今後の組合と会館運営の方針について
  - (2) 今後のスケジュールについて
5. 青年部会より
  - (1) 定時総会 提出議案について

### 4月

#### ●2日 新入社員歓迎式 11社56名参加



組合員企業11社合同で新入社員歓迎式を実施。

#### ●3日 理事会

1. 総務委員会より
    - (1) 事業所従業員数調査について
    - (2) 新入社員歓迎式について(報告)
    - (3) 令和6年3月31日現在の組合員数について
  2. 組合運営委員会より
    - (1) 会館売上報告について
    - (2) 水防工事調査について(報告)
    - (3) 町内一斉清掃について
    - (4) 不燃物有料回収について
  3. 厚生委員会より
    - (1) 新入社員行事の開催について
  4. 検討委員会より
    - (1) 今後の組合や会館の方針について検討結果報告
    - (2) 今後のスケジュールについて
    - (3) 説明会等での質問事項への対応について
  5. 青年部会より
    - (1) 青年部会の会員拡大へのご協力お願い
- 4日~5日 新入社員研修会 7社20名参加  
●8日 新入社員電話教室 6社27名参加  
●10日 町内一斉清掃 112社133名参加

### 6月

#### ●4日 理事会

1. 総務委員会より
    - (1) 集団健康診断の実施について
  2. 組合運営委員会より
    - (1) 会館売上報告について
  3. 厚生委員会より
    - (1) サッカー観戦について
    - (2) 新入社員フォローアップ研修について
  4. BCP委員会より
    - (1) 金沢市卸売業組織強化支援事業について
  5. 街力発信委員会より
    - (1) イベント事業について
    - (2) 大規模修繕工事関連について
    - (3) 臨時総会等について
  6. 青年部会より
    - (1) 5月定例会について
    - (2) 6月定例会について
- 26日 (協)横手卸センター様来訪



視察に来られた横手卸センター様と意見交換。

# 通常総会を開催

協同組合金沢問屋センターの第61回通常総会が、令和6年5月30日(木)午後2時から金沢流通会館にて開催され、全議案が原案通り承認されました。また、総会終了後に高桑理事長が「金沢流通会館の修繕計画の件」について説明を行い、事務局から商団連グループ保険の紹介がありました。



審議を前にあいさつを行う高桑理事長。

〔第2号議案〕 令和5年度剰余金処分(案)承認の件  
 〔第3号議案〕 令和6年度事業計画(案)承認の件  
 〔第4号議案〕 令和6年度収支予算(案)並びに賦課金の賦課徴収方法承認の件  
 〔第5号議案〕 令和6年度組合借入金残高の最高限度額及び1組合員に対する貸出限度額承認の件  
 〔第6号議案〕 理事及び監事報酬の件

## 高桑理事長あいさつ

全ての議案の審議を終えて閉会の挨拶を述べ、総会は午後2時31分に終了しました。引き続き、ご来賓よりご挨拶を頂き祝電が披露されました。

皆の声を集めて組合の進むべき方向を模索してまいります



組合員の皆様方におかれましては、ご多忙にもかかわらず第61回通常総会に

ご出席を賜り厚くお礼申し上げます。また日頃から、当組合の活動にご支援ご協力を頂いているご来賓の皆様も、ようこそお越し頂きありがとうございます。

この度の令和6年能登半島地震により、お亡くなりになられた方々に哀悼の意を表しますとともに、被災されました皆様にご心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧をお祈りいたします。

さて、昨年度を振り返りますと、「コロナ禍から社会経済活動が正常化しつつも、原油・原材料の高騰による収益状況の逼迫、人手不足への対応など厳しい経営環境が続いております。一方、長期化するロシアのウクライナ侵攻に加えてパレスチナ情勢が緊迫化するなど、紛争が絶えることはありませんでした。世界的なインフレの中で円安の状況が続く、我々の生活にも大きく影響が及んでおります。

そのような中、5月8日に新型コロナウイルスの位置づけがインフルエンザ並みの5類に移行したことにより、ようやく日常が戻り、それまで開催を取りやめていた様々な行事も徐々に復活してきました。当組合の福利厚生事業であるボウリング大会も、屋内で行うため開催を見合わせていましたが、昨年は4年振りに実施することが出来ました。また、青年部メンバーが団地内の皆様を対象に開催した「キマッシ秋祭り2023」も好評で、焼きサンマ1000匹を提供し、キッチンカーの各店舗もほとんど完売！天候にも恵まれて最高の一日になりました。いずれも組合員の従業員皆様の交流に役立っていると存じます。

問屋町の「街力」を発信するために、「街力」について考えるセミナーを昨年10月に開催しました。講師としてお招きした珠洲市副市長の金田直之氏は、3年に一度開催される「奥能登国際芸術祭」の発足時から関与してこられた方です。芸術祭開催に至る経緯やプロセス、地域の魅力の探り方、芸術祭によって得られた効果などについて深い理解を持たれていて、金田副市長が考える珠洲の「街力」や、芸術祭としての発信方法、今後の展望などについて学ぶことが

ができました。

また、奥能登国際芸術祭のチケット販売を通じて、珠洲市に貢献するとともに、当組合員の従業員からの福利厚生につながる活動も行いました。それから2か月経った今年の元日午後4時10分に能登半島地震が発生し、珠洲市は甚大な被害を受けました。常設の展示作品も被害を受けたと聞きますが、復興までの長い道のりを出来るだけ協力して前に進んでいきたいと思います。現在、組合事業は5つの委員会を中心に動いています。それに加えて昨年は「検討委員会」を立ち上げました。これは今年完成40周年を迎えた金沢流通会館の今後の在り方と組合の進む方向について考えるための委員会です。正副理事長と委員長、青年部会長で編成し、小グループに分かれて意見交換をしました。既に10回以上開催し、理事会でも報告した内容について、本日の議案の審議終了後ご出席の皆様にご説明をさせていただきます。

本日、ご臨席を頂いております石川県、金沢市はじめご来賓の皆様方には、当組合の更なる飛躍発展のために、より一層のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。皆様方のご健康ご多幸をお祈りいたします。私のご挨拶とさせていただきます。本日は、誠にありがとうございます。

## 来賓出席者

- 小林 俊広 石川県商工労働部次長
- 上寺 武志 金沢市経済局長
- 布島 宏胤 金沢市経済局商工労働課課長
- 普赤 清幸 金沢商工会議所専務理事
- 中村 明 石川県中小企業団体中央会専務理事
- 花崎 純一 商工組合中央金庫金沢支店支店長
- 村上 洋平 北國銀行本店営業部長
- アカウントマネージャー
- 吉田 宏明 北陸銀行金沢問屋町支店支店長
- 小坂 知彦 金沢信用金庫問屋町支店支店長

## 協同組合金沢問屋センター

# 臨時総会開催のご案内

日時 ■ 8月27日(火) 14時～ 場所 ■ 金沢流通会館 1階大ホール「パルス」

協同組合金沢問屋センターでは、完成40周年を迎えた金沢流通会館の今後の在り方と組合の進む方向を考えるため昨年、「検討委員会」を立ち上げました。各委員の意見を集約して作成した方針案につきまして、臨時総会にてご審議願います。

## 【審議事項】

### 今後の組合及び組合運営方針について

現在の流通会館については大規模修繕工事を行って当面使用を続け、約20年前後の解体を目指して行動していきたい。この決断により多額の修繕費が掛かることになる一方、「事業協同組合」として今後も活動をしていくうえで組合事業の縮小はできるだけ避けたいとの理由から新たな財源が必要となり、以下のような案を計画している。

### ① 金沢流通会館修繕計画の件

#### a) 大規模修繕工事について

会館の利用者流出を防ぐ、工事費削減などの観点から、修繕工事は1回に集約したい。

#### b) 貸出停止時期について

令和8年4月～9月頃を選定(5月～7月は組合員の利用率が高いため)。

#### c) 工事費支払いについて

大規模修繕工事の費用(最大で3億円程度)の多くは、税制面を考慮して借入金で賅うのが最善と判断した。赤字決算(繰延を含む)や返済で納税額を抑え、次に掛かる修繕費、約20年後の解体費、新会館建築のための積立を進めていきたい。

### ② 具体的な財源(収支改善案)について

現在の組合の収支状況では計画の実施が難しいと予測されるため、収支改善案を提示したい。

賦課金面積割値上げ、年間坪50円(令和8年度～)	年間 約200万円増収
駐車場値上げ、月額1台@200円(令和8年度～)	年間 約200万円増収
会館使用料組合員割引率2割へ(令和7年度～)	年間 約100万円増収
賦課金役員割新設、平均@3万円前後(令和7年度～)	年間 約70万円増収
研究調査費や懇親会等の縮小・廃止	年間 約400万円削減
各種団体(組合内外)への負担金削減(令和7年～)	年間 約30万円削減
予算額として、約1,000万円捻出	

うちのキラリンさん

問屋町にお勤めの  
元気な社員の方をご紹介します



頼まれたことは  
すぐやる! 素早く!!

丸与商事株式会社 古田 怜さん

富山出身の奥さんで行った尾山神社で、改めて金沢の良さに感動。今度「金沢を旅しよう」と話しています。

経理の仕事は挙げ出すときりがなく、着物業界ならではの複雑さもあります。今も営業の現場は手書きの伝票ですし、一点ものの加賀友禅もあってバーコードでの管理も難しい。ただ社内の処理で変えられるところは変える。Excelで式を組んで効率的に…といったことはやっています。行政の手続きも「やるしかない」と電子化に手を付けました。最初はわかりづらく大変でしたが覚えてしまえば楽で、効率は上がっています。

忘れっぽいので、頼まれたことはすぐやる! 忘れないうちに素早く!! そうすれば周りから評価を頂けますし、自分が仕事をまわしやすい環境になっていけばいいな、という思いはあります。入社11年目になり、今年から決算処理を任せると言われました。正直プレッシャーですが、新しいことをどんどん覚えていかなければならない立場になったと前向きに捉えています。

**① 光熱費負担金の廃止及び空調使用料の値下げについて**  
昨年4月の申込分から利用者に光熱費を負担して頂いておりましたが、利用者からは料金がかかりにくいとの指摘も多く光熱費負担金を廃止することになりました。ただ、世界情勢や地元の電力事情に鑑みて、今後も電気料金は下がりにくいと考えられます。そこで令和7年4月より基本料金を約10%値上げして、そこに光熱費負担金を含ませることになりました。それに伴い、現在基本料金の3割としていた

**② 組合員割引の変更**  
コロナ禍において、会館利用の際の組合員割引を2割から3割に拡充していましたが、コロナ禍以前の2割に戻すことになりました。これに伴い準組合員に関しては、現在1階・2階は1割、4階は2割としていた割引を全館1割に統一することになりました。組合員、準組合員ともに令和7年4月より変更させて頂きます。

お知らせ  
流通会館使用料金の再改定について

る空調使用料を、基本料金の2割に減額いたします。

ご理解と協力を  
頂けますよう、  
お願いいたします。



思い思いに窓にお  
絵描き(2019年)



モバイルづくり  
(2012年)

夢中になるって  
楽しいね!

18日 水彩画

指導は美大の先生方。日頃の忙しさを夏の暑さを忘れて、水彩画に没頭するのはいかがでしょうか。  
対象：社会人

17日 カレンダーづくり

美大生による工作教室を開催します。カレンダー制作を通して手を使うことはもちろん、「数」や「日」を学ぶ機会にもなります。  
対象：保育園の年長児から小学校1年生ぐら  
いまでの子どもたち

1 アートを楽しもう!  
5年ぶりの  
ワークショップ  
開催日 8月17日(土)・18日(日)  
会場 金沢流通会館大ホール

2 キマツシ秋祭り2024  
今年もやります!  
焼きさんま  
開催日 9月6日(金)  
会場 金沢流通会館第1駐車場

event イベント開催のお知らせ  
ぜひ、誘い合わせてお越しください!

毎年ご好評頂いている青年部会主催の「キマツシ秋祭り2024」を今年も開催します。祭りの目玉は何と言っても、アツアツの焼きさんま。今年はさんまの販売数も増やし、たくさんの方々に楽しんでもらおうと計画を練っています。かき氷の無料提供も行いますので、皆様お楽しみにしてください。  
詳細は決定次第案内いたします。



去年は焼きさんま  
1000尾を完売!

行列ができる人気ぶりでした。  
青年部会員が奮闘。

わが社をPR

北陸ペイント株式会社  
お客様第一、現場第一を貫いて

昨年、創業60周年を迎えました。自動車販売店の塗料部としてスタートし、現在は建築用、船舶用、工場向け塗料をそれぞれ4分の1の比率で扱っています。主な塗料メーカーが明治創業という歴史の長い業界にあって当社は新参者であり、後発がゆえに自動車用にこだわらず幅広く、小口のお客様にも営業をしてきました。そしてせっかつかんだお客様を守るため、お客様第一、現場第一を貫いてきました。

塗料とは一筋縄にはいかないもので、塗りたてはきれいでも塗料の選択、下地の処理、工程等によって5年後、10年後に差が出ます。小回りが利く当社なら、メーカーや塗装会社と現場で打ち合わせをして最適な提案をすることができます。廉価な塗料も数多くある中で付加価値の高い商品でも取り入れて頂けるのは、お客様との長いおつきあいの中で信頼関係を築いてきたから。今後も一日でも一時間でも早く現場に届ける、対価以上の提案をするといった



代表取締役社長  
山田 祥之

富山から単身赴任中なので、週末は真っ先に帰って家内と買い物やランチへ。若い頃は仕事で接待漬けでしたが、今は嫁を接待です。

“北陸ペイントの商売”に  
客観的な目をプラス

父である会長から会社を引き継いで3年です。塗料についても経営者としても勉強途上ですが、銀行員時代に上司から言われた「仕事は社員に任せろ。それがトップの器。そして任せっきりでなく構っていけ」という言葉を大切にしています。任せた仕事の方向性が間違っていないかチェックする(=構う)のが私の役割であり、社員がやる気を出せる職場環境を作ることを心がけています。

仕事に対して真面目でお客様と現場を大事にする会長のやり方を守ったうえで、客観的な目で改善を加えていきたいというのが私の思いです。例えば経験が頼りで会長一人にしかできなかったことをデジタル化することで属人的なものから解放され、その結果、効率が上がった仕事もあります。

事業承継が難しい時代ですが、喜んで次の世代に引き継いでもらえるような会社にしてパトタッチするのが私の役目。あと10年くらいの間にそういう会社になりたいと思っています。

地道な努力を続けていかなければ。

近年は環境への関心も高く、省エネ効果のある遮熱塗料など社会のニーズをくみ取った製品が生み出されています。我々販売店の使命はこれらを普及させること。メーカーからの情報をタイムリーに提供し塗装会社に橋渡ししていかなければ、せっかくの価値ある商品がエンドユーザーに届きません。次々と出てくる新しいニーズに応え続けていくことが、業界にとっての、またわが社にとっての生きる道ではないでしょうか。

全国卸商業団地企業年金基金からお知らせ

退職金の積み立てに  
全国卸商業団地  
企業年金基金を  
活用してみませんか

全国卸商業団地企業年金基金は、給付額が確定している確定給付企業年金です。

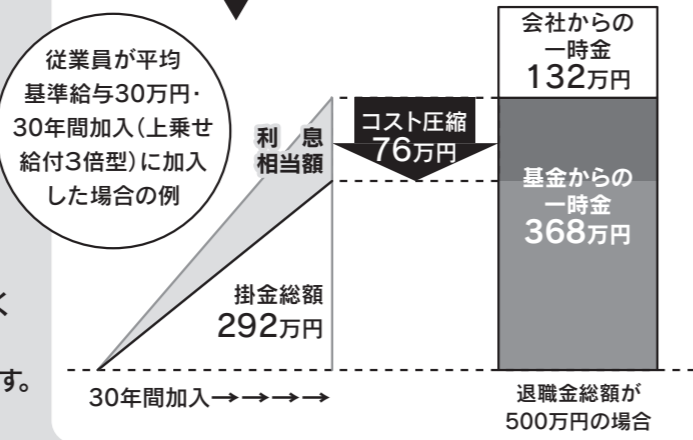
当基金のメリット

- 掛金は損金算入できます。
- 平準的に積み立てることで資金繰りが安定します。
- 従業員が給付を受ける際には、退職所得控除もしくは公的年金等控除が受けられます。
- 新規加入年度の翌々年度まで事務費掛金が半額です。
- 退職金積立のコスト負担が軽減できます。

※加入期間中の昇給の状況により一時金の額は変動します。基金の財政状況が大きく悪化した場合、追加の掛金をご負担頂くことがあります。事務費掛金は、30年間累計で216,000円(年間平均7,200円)ご負担頂きます。

当基金では、加入者毎に仮定の個人勘定を設け掛金に1.5%(複利)の利息を付与しています。

退職金規程で、規定する退職金総額に当基金から受け取る年金や一時金を含む旨を定めれば、**利息相当額分の退職給付コストを圧縮**することができます。



詳しくは「全国卸商業団地企業年金基金」まで ☎03-3560-7017 東京都港区赤坂5-1-31